



## 2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月8日

上場会社名 ソレキア株式会社

上場取引所 東

コード番号 9867 URL <https://www.solekia.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 義和

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長兼経理財務部長 (氏名) 宮崎 雅司

TEL 03-3732-1131

四半期報告書提出予定日 2019年11月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	11,051	15.8	513	222.6	515	193.9	337	240.2
2019年3月期第2四半期	9,546	3.3	159	168.0	175	165.7	99	41.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 334百万円 (412.1%) 2019年3月期第2四半期 65百万円 (64.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	390.32	
2019年3月期第2四半期	114.71	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	14,404	6,796	47.2
2019年3月期	14,043	6,505	46.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 6,796百万円 2019年3月期 6,505百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				50.00	50.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,900	9.8	850	17.3	860	15.0	530	12.2	613.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2019年11月8日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	865,301 株	2019年3月期	865,301 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	711 株	2019年3月期	711 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	864,590 株	2019年3月期2Q	864,753 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	2
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	四半期連結財務諸表及び主な注記	4
	(1) 四半期連結貸借対照表	4
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
	四半期連結損益計算書	
	第2四半期連結累計期間	6
	四半期連結包括利益計算書	
	第2四半期連結累計期間	7
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
	(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
	(継続企業の前提に関する注記)	9
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
	(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
	(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出を中心に弱さがみられ製造業などを中心に景況感の悪化はあるものの、企業収益が高水準を維持するなかで設備投資の増加が続き、個人消費も雇用・所得環境の改善を背景に持ち直し傾向で推移するなど、緩やかな回復基調が続きました。

一方、世界経済においては、米国の通商政策による貿易摩擦の影響や英国のEU離脱問題に揺れる欧州経済の停滞、東アジアにおける地政学的なリスク、金融資本市場の変動リスク等、先行き不透明感が強まっています。

ICT業界におきましては、IoT(モノのインターネット)やAI(人工知能)などの技術進化とともに、「働き方改革」への取り組みなどを背景とした企業の生産性向上や業務効率化を目的としたシステムの更新需要は引き続き拡大傾向にあります。

このような経営環境のもと、当社グループの第2四半期連結累計期間の売上高は、フィールドサービスが減収となったもののサーバ、パソコン等の情報通信機器、システムエンジニアリングサービスやネットワーク工事関連が増収となり、110億51百万円(前年同期比15.8%増)となりました。

損益面につきましては、売上高の増加と原価率低減に努めたことにより、営業利益5億13百万円(前年同期比222.6%増)、経常利益5億15百万円(前年同期比193.9%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益3億37百万円(前年同期比240.2%増)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

「首都圏」は、電子デバイスやフィールドサービスが減少となりましたが情報通信機器、システムエンジニアリングサービスやネットワーク工事関連が増加し、売上高は60億12百万円(前年同期比18.8%増)となりました。

損益面につきましては、売上高の増加と原価低減、販売費及び一般管理費の減少により、営業利益は2億40百万円(前年同期比664.7%増)となりました。

「東日本」は、文教および民間企業向け情報通信機器導入が増加したことから、売上高は26億73百万円(前年同期比18.9%増)となりました。

損益面につきましては、売上高の増加により、営業利益は2億14百万円(前年同期比47.9%増)となりました。

「西日本」は、電子デバイスや文教向け情報通信機器導入が増加したことから、売上高は23億34百万円(前年同期比7.3%増)となりました。

損益面につきましては、売上高の増加と原価低減により、営業利益は1億67百万円(前年同期比64.4%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、3億60百万円増加し、144億4百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が2億95百万円、現金及び預金が41百万円減少した一方、商品が6億78百万円増加するなど、流動資産が3億96百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、68百万円増加し、76億7百万円となりました。その主な要因は、未払法人税等が74百万円、賞与引当金が44百万円減少した一方、支払手形及び買掛金が3億11百万円増加するなど、流動負債が73百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、2億91百万円増加し、67億96百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が2億94百万円増加したことによるものであります。以上の結果、自己資本比率は47.2%(前連結会計年度末は46.3%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、41百万円減少し、48億29百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、25百万円（前年同期比2億53百万円減）となりました。その主な要因は、たな卸資産の増加額7億22百万円、法人税等の支払額2億26百万円などによる資金の減少があった一方、税金等調整前四半期純利益5億15百万円、仕入債務の増加額3億11百万円、売上債権の減少額2億79百万円などによる資金の増加があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は、21百万円（前年同期は18百万円の減少）となりました。その主な要因は有形固定資産の取得による支出21百万円などによる資金の減少があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は、43百万円（前年同期は61百万円の減少）となりました。この主な要因は、配当金の支払額43百万円による資金の減少があったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における業績の動向等を勘案し、2019年5月10日に公表いたしました2020年3月期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2019年11月8日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,870,902	4,829,483
受取手形及び売掛金	5,779,344	5,483,551
電子記録債権	151,434	167,920
商品	621,506	1,299,728
仕掛品	103,376	147,676
その他	98,261	93,123
貸倒引当金	△979	△979
流動資産合計	11,623,844	12,020,502
固定資産		
有形固定資産	1,050,706	1,051,391
無形固定資産	31,443	28,552
投資その他の資産		
投資有価証券	318,836	310,222
敷金及び保証金	451,990	450,517
繰延税金資産	505,295	481,986
その他	68,359	67,801
貸倒引当金	△6,649	△6,649
投資その他の資産合計	1,337,831	1,303,877
固定資産合計	2,419,980	2,383,821
資産合計	14,043,825	14,404,324
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,502,264	3,813,799
短期借入金	1,113,242	1,110,940
未払法人税等	269,318	194,473
賞与引当金	351,900	307,800
役員賞与引当金	14,500	—
受注損失引当金	—	18,668
その他	914,343	793,059
流動負債合計	6,165,568	6,238,741
固定負債		
役員退職慰労引当金	82,906	82,906
退職給付に係る負債	1,223,028	1,218,209
資産除去債務	66,907	67,477
固定負債合計	1,372,842	1,368,593
負債合計	7,538,411	7,607,335

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,293,007	2,293,007
資本剰余金	2,359,610	2,359,610
利益剰余金	1,764,287	2,058,521
自己株式	△1,401	△1,401
株主資本合計	6,415,503	6,709,737
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	110,011	103,003
為替換算調整勘定	△20,101	△15,751
その他の包括利益累計額合計	89,910	87,251
純資産合計	6,505,413	6,796,988
負債純資産合計	14,043,825	14,404,324

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	9,546,487	11,051,401
売上原価	7,776,113	8,907,115
売上総利益	1,770,374	2,144,286
販売費及び一般管理費	1,611,241	1,630,918
営業利益	159,133	513,367
営業外収益		
受取配当金	4,857	5,187
受取家賃	2,400	2,400
為替差益	11,040	—
その他	3,826	3,536
営業外収益合計	22,124	11,124
営業外費用		
支払利息	4,148	4,051
為替差損	—	3,998
その他	1,606	600
営業外費用合計	5,755	8,649
経常利益	175,502	515,842
税金等調整前四半期純利益	175,502	515,842
法人税、住民税及び事業税	59,182	152,344
法人税等調整額	17,122	26,033
法人税等合計	76,305	178,378
四半期純利益	99,197	337,463
親会社株主に帰属する四半期純利益	99,197	337,463

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	99,197	337,463
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,441	△7,008
為替換算調整勘定	△17,382	4,349
その他の包括利益合計	△33,823	△2,658
四半期包括利益	65,373	334,804
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	65,373	334,804

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	175,502	515,842
減価償却費	47,073	25,349
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△992	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,100	△44,100
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△14,500	△14,500
受注損失引当金の増減額(△は減少)	6,594	18,668
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△6,339	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△36,637	△4,810
受取利息及び受取配当金	△5,181	△5,506
支払利息	4,148	4,051
売上債権の増減額(△は増加)	799,505	279,224
たな卸資産の増減額(△は増加)	△392,712	△722,525
仕入債務の増減額(△は減少)	△84,188	311,738
未払消費税等の増減額(△は減少)	△122,379	△28,246
その他	21,324	△84,327
小計	386,118	250,858
利息及び配当金の受取額	5,207	5,183
利息の支払額	△4,155	△4,031
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△108,223	△226,229
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>278,947</b>	<b>25,780</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△1,080	△1,080
有形固定資産の取得による支出	△12,420	△21,932
ソフトウェアの取得による支出	△1,184	-
敷金及び保証金の差入による支出	△4,475	△1,017
敷金及び保証金の回収による収入	1,376	2,531
その他	△388	△427
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△18,172</b>	<b>△21,925</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の純増減額(△は増加)	△799	-
配当金の支払額	△60,537	△43,229
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△61,337</b>	<b>△43,229</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△991	△2,045
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	198,445	△41,419
現金及び現金同等物の期首残高	3,930,067	4,870,902
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,128,513	4,829,483

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	首都圏	東日本	西日本	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,059,084	2,247,836	2,175,848	9,482,769	63,717	9,546,487
セグメント間の内部売上高 又は振替高	30,048	—	23	30,072	142,656	172,728
計	5,089,132	2,247,836	2,175,872	9,512,842	206,374	9,719,216
セグメント利益	31,423	144,761	102,198	278,383	2,719	281,103

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	278,383
「その他」の区分の利益	2,719
セグメント間取引消去	191
全社費用(注)	△122,162
四半期連結損益計算書の営業利益	159,133

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、予算と実績の調整差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	首都圏	東日本	西日本	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,012,110	2,673,494	2,334,047	11,019,651	31,749	11,051,401
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,240	—	—	1,240	99,692	100,933
計	6,013,350	2,673,494	2,334,047	11,020,892	131,442	11,152,334
セグメント利益又は損失(△)	240,307	214,141	167,978	622,426	△11,245	611,181

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	622,426
「その他」の区分の損失(△)	△11,245
セグメント間取引消去	86
全社費用(注)	△97,900
四半期連結損益計算書の営業利益	513,367

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、予算と実績の調整差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。